

## 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	緑川 晶		
NAME	MIDORIKAWA, Akira		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

## 1. 研究課題

(和文) 脳機能亢進現象に関する神経心理学的・実験心理学的検討

(英文) Neuropsychological and Experimental Investigation of Paradoxical Phenomena

## 2. 研究期間

2023年度

## 3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

**研究の背景と目的:** 脳の障害は認知機能の低下だけではなく機能的な亢進を引き起こすことが近年になって明らかになってきたが、そのパターンや背景については明らかではない。また、明らかな認知機能の低下は認めなくとも、機能的な亢進が生じることが確認されていることから、一般成人の中にも機能亢進が生じることが想定される。そこで本研究では、脳機能亢進現象の中でも感覚の過敏性に焦点を当て、明らかな障害を認めない一般成人を対象に検討することを目的とする。

**実施計画および成果:** 本研究では、感覚の過敏性の中でも経験される頻度が高い聴覚過敏に焦点を当て、一般成人において生じる聴覚過敏の頻度やその背景となる特性との関連性を検討した。その結果、一般成人において聴覚過敏が生じる頻度は聴覚過敏の種類によって異なること、また聴覚過敏が生じやすい特性などがあることが明らかとなった。また、一部の聴覚過敏には文化差が想定されることが確認された。今後は日本と欧米との比較を行う予定である。

(英文)

This study investigates hypersensitivity, with a particular focus on the general population. We explored the prevalence and underlying characteristics associated with auditory hypersensitivity among this group. Our findings indicate that the incidence of auditory hypersensitivity varies by type, and we have identified specific characteristics that may predispose individuals to this condition. Furthermore, our research suggests that cultural differences may play a role in influencing certain forms of auditory hypersensitivity.